

第3章 基山町立図書館等施設の現状・課題

検討委員会にて図書館等施設の建設について議論するにあたり、現状認識の必要性を考慮し、図書館ならびに歴史民俗資料館が置かれた現状について、以下に報告します。

3.1 基山町立図書館の現状と課題

(1) 基山町立図書館の利用状況の推移

平成19年から平成23年までの最近5年間の基山町立図書館の利用状況は、下表のとおりです。

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	備考
基山町人口	18,348	18,210	18,092	17,923	17,794	各年3月末
年間利用者 (人口比率)	21,770 (1.18倍)	23,864 (1.31倍)	24,209 (1.34倍)	23,725 (1.32倍)	23,640 (1.33倍)	人口の約1.3倍が利用
日利用者	79	86	86	86	89	
開館日数	275	278	279	277	266	
登録者数 (人口比率)	7,837 (42.7%)	8,221 (45.1%)	8,448 (46.7%)	8,834 (49.3%)	9,235 (51.9%)	人口の約50%登録
有効登録者数	2,401	2,705	1,173	2,565	2,597	
年間貸出冊数	95,529	107,729	109,256	110,719	111,075	年々増加
1日貸出冊数 (開館日数)	347 275	388 278	392 279	398 277	417 266	7万冊を保有
図書資料数	60,657	62,554	66,005	69,192	71,133	
一般図書	38,093	39,160	41,587	43,347	44,290	
児童図書	22,565	23,394	24,418	25,845	26,843	
雑誌	51	52	51	51	51	タイトル数
新聞	6	6	6	6	6	紙数

(注) ①資料は、各年度3月末日でのデータです。

②年間利用者の人数は、本を借りた方的人数ですので、実際の利用者はこれより多いです。

【利用状況の特徴】

- ① 年間に町民の約1.3倍に当たる2.3~2.4万人の方が利用されています。
- ② 町民の約半分(9千人)の方が図書館利用者カードに登録されています。
- ③ 年間貸出冊数が年々増加しています。

(2) 図書館施設の維持管理費コストの推移

平成19年から平成23年までの最近5年間の基山町立図書館の維持管理費は、下記のとおりです。

(単位：円)

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	備考
職員数	3	3	3	3	3	
臨時職員	3	4	3	4	5	臨時登録
人件費 (合計対比)	13,695,900 (57.5%)	14,028,180 (56.3%)	14,174,932 (57.7%)	14,401,244 (54.8%)	11,310,920 (54.4%)	合計の約半分が人件費
光熱水費	1,122,385	1,090,402	1,075,932	1,117,806	999,213	
修繕費	79,790	708,385	177,345	75,154	209,855	
通信運搬費		154,319	152,784	153,709	150,492	
分担共済費	18,931	18,931	18,931	18,931	18,931	
インターネット料	186,249	177,555	177,555	177,555	177,555	
自動車保険	12,740	39,420	12,740	41,120	12,740	
警備委託費	102,060	102,060	102,060	102,060	76,860	
清掃委託	110,250	121,800	163,800	157,500	126,000	トイレ週1回
植栽委託	—	—	—	—	—	財政課一括
マーク委託	294,924	317,016	320,628	356,916	271,068	下記(注)
システム保守	729,540	729,540	729,540	729,540	729,540	
自動ドア保守	0	0	16,800	16,800	12,001	
消防保守	21,000	21,000	21,000	21,000	19,950	
コピー借上	106,879	91,457	89,160	91,207	93,015	
図書システム借上	1,864,800	1,864,800	1,864,800	1,864,800	1,803,900	
テレビ受信	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	
図書購入費 (合計対比)	5,397,575 (22.7%)	5,398,473 (21.7%)	5,401,790 (22.0%)	6,867,786 (26.1%)	4,699,891 (22.6%)	
視聴覚資料	—	—	—	—	—	
負担金	55,150	55,560	55,370	55,350	55,340	日図協・三市図協等
合計	23,813,083	24,933,803	24,570,077	26,263,388	20,782,181	

(注)マークとは：目録カード(書名・著者名・出版社・出版年・版・ページ数・値段・ISBN番号・分類番号といった本の情報をカードにして検索等に活用)の電算化に伴い、データ化したもの。

社会教育事業のための研修室等の空間がない為、本来社会教育等を目的とした講座や研修を行う事業費が少なく、施設の維持管理費用の約半分が人件費として見えている状況である。

(3) 現在の図書館が抱えている問題点

現在の図書館が抱えている問題点について整理しました。

下記のように、町民に対して満足なサービスができる図書館とはいえないのが現状です。

項目別	現状・問題点
一般的な図書館施設として	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ゆっくりと読書ができる閲覧スペースが少ない</u> ・お話し会用のスペースがない ・<u>書棚の間隔が狭くて、利用が不便である</u> ・視聴覚資料の提供がない
生涯学習施設として	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>子どもから高齢者まで学習できる場所がない</u> (現状は、閲覧用机を20人分確保しているが狭い) ・生涯学習施設としての機能がない ・<u>町民が交流する場所がない</u>
事務管理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>書籍の整理(作業)場所がない</u> ・会議室がない ・職員の休憩室がないので、狭い事務室(兼機械室)で、昼食休憩している
年間図書購入費と書庫面積	<ul style="list-style-type: none"> ・年間平均540万円の図書購入費(図書資料のみ)を確保 ・<u>書庫面積が少なく、年間1.5~2.0千冊程除籍している</u> ・<u>旧役場書庫もいっぱいである。また離れた施設なので迅速に対応できない</u>
施設・建築物	<ul style="list-style-type: none"> ・開館は昭和57年で30年が経過し老朽化が進んでいる ・主要道路線上にあった図書館だったが、道路整備により主要道路から入り込んだ地となり場所がわかりにくい ・駐車場が整備されていない ・<u>台風などの強風・強雨時は、雨漏りの心配がある</u>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>書架等の備品も開館当時の物が多く、老朽化している</u>

[一般閲覧コーナーの写真]



(ゆっくり読書する空間が少ない)

[児童コーナーの写真]



(子どものお話会等のスペースがない)

3.2 基山町立歴史民俗資料館の現状と課題

基山町は、古くから古代官道や長崎街道など主要道路が通っており九州の交通の衝地として発展してきました。

町の歴史は、旧石器時代（約 12,000 年前）にまでさかのぼり、大宰府の南の守りとしての特別史跡基肄城跡や江戸時代からの売薬の歴史など、先人たちが積み重ねてきた悠久の歴史が残されています。わが町基山に生きた人々の「経験」を将来に活かすための施設として、歴史民俗資料館があります。

基山町立歴史資料館は、「基山町立歴史民俗資料館・図書館」の建物の 2 階に展示面積 219m²として開館しています。

歴史民俗資料館の展示面積：219m²

主な展示資料としては、

- ・基肄城^{きいじょう}：天智 4 年（665 年）に築かれた朝鮮式山城で昭和 12 年に国の史跡に、昭和 29 年に国の宝である特別史跡に佐賀県第 1 号として指定されています。
- ・考古資料^{せんどうやま}：千塔山遺跡の出土品ほか、町内の遺跡から出土した旧石器から奈良時代の遺物が展示されています。
- ・民俗資料：基山の人々の暮らしを知る上で貴重な民具、工具等を展示しています。また売薬は、江戸時代に対馬藩であった地の利を生かして自然発生的に起こり、その名を全国各地に響かせました。

などが展示されています。

【資料数総計】

- | | |
|-------------|-----------|
| ・資料数（展示可能分） | 2,746 点 |
| ・コンテナ（考古資料） | 290 箱 |
| ・写真資料 | 800 枚 |
| ・野外保管コンテナ | 270 箱 |
| ・図面類 | 約 2,000 点 |
| ・書架・キャビネット | 38 台 |

(1) 現在の歴史民俗資料館が抱えている問題点

現在の歴史民俗資料館が抱えている問題点について整理しました。

下記のように、町民に対して満足なサービスができる歴史民俗資料館とはいえないのが現状です。

項目別	現状・問題点
一般的な資料館施設として	・町民からのレファレンス対応のスペースがない
事務管理施設	・資料整理(作業)場所がない ・管理室がない ・専門職員が配置されていない
年間管理費	・管理費及び展示のための予算がない(住民協働によって稼働している)。
施設・建築物	・開館は昭和57年で30年が経過し老朽化が進んでいる ・展示施設内のカビ・虫害・施設毀損によって、指定文化財、借用資料の展示が十分できない。 ・特別史跡基肆城跡出土資料などの収蔵空間が少ない。 ・台風などの強風・強雨時は、雨漏りの心配がある
その他	・展示に関わる備品も開館当時の物が多く、老朽化している

[歴史民俗資料館展示室]



(展示ケースのカビ)

[収蔵資料の状態]



(野外保管の資料)